

としょかんだより 11

◎ 読書の秋 ～今月の一冊～

朝晩がずいぶん涼しくなり、夜が長く感じられる季節になりましたね。
この時期、"読書の秋"という言葉がよく使われますが、この由来をご存知ですか？

これは、中国の詩人、韓愈（かんゆ）が「符読書城南詩」の中に記した、
「時秋積雨霽 新涼入郊墟 燈火稍可親 簡編可卷舒」
(秋になって長雨が終わって空も晴れ、涼しさが丘陵にもきている。
ようやく夜の灯に親しんで、書物を広げられる)

という詩に由来すると言われていています。

この詩が、夏目漱石の小説『三四郎』の中でも引用されたことをきっかけに
日本で"秋は読書（をする）"というイメージや習慣が浸透したようです。

中央図書館では、11月末まで夏目漱石の『三四郎』の初版復刻版を特別に展示
しています。

この本の装丁は、鹿児島県出身の装丁家で、版画家としても有名な橋口五葉
(1881-1921)によるものです。五葉は『三四郎』以外にも『吾輩は猫である』等、
漱石の6作を手掛けています。『吾輩は猫である』は、明治38(1905)年、まだ
学生であった五葉に漱石が依頼し、2人が初タッグをくんだ作品です。そして、これが
五葉の装丁家としてのデビュー作となりました。

普段はなかなか目にすることのできない本ですので、ぜひこの機会にご覧ください。

参考文献：『ことわざを知る辞典』 北村孝一／編

『三四郎』 夏目漱石／著

初版： 明治42年5月13日 発行

復刻版： 昭和54年7月15日第1刷 発行

(南さつま市立中央図書館所蔵本)

昭和58年3月1日第14刷 発行)



新刊本フェア開催中！

中央図書館では、「新刊本フェア」を開催中です。

笠沙・大浦・坊津・金峰図書館で、3～5カ月以内に購入した本から、よりすぐりの本を集めて、展示しています。

気になる話題の本や人気作家の新作等、他館の新刊本を直接ご覧いただけます。ぜひご利用ください。

12月は大浦図書館で開催予定です。

クリスマスおはなし会

今年もクリスマスおはなし会を開催します。

クリスマスにぴったりの絵本や紙芝居等をご用意してお待ちしています！

おはなしの後に、サンタさんが来てくれるかも!?

日 時：12月10日（日）午後2時～3時

場 所：中央図書館（おはなしのへや）

対 象：どなたでも



ボランティアグループによる絵本や紙芝居等の読み聞かせをしています。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

- 中央図書館 毎週土曜日 11:00～11:30
- 坊津図書館 毎週火曜日 10:30～12:00 ※祝日のぞく
- 金峰図書館 第4土曜日 10:00～11:00

【開館時間・休館日】

中央図書館(加世田)

9時～19時／火曜日休館

笠沙・大浦・坊津・金峰図書館

9時～17時／水曜日休館

【問合せ】 中央図書館 TEL 53-5422(直通)

笠沙図書館 TEL 63-0348 大浦図書館 TEL 62-2113

坊津図書館 TEL 59-4820 金峰図書館 TEL 77-1113

<https://lib.minamisatsuma.ed.jp/>

HP



Facebook

